

特集1

過去・現在・未来 これからの日中友好

特集2 留学熱

世界が大きく広がる熱い留学体験記!

特集3 教職特集

教師になるなら創大へ!
教職を志す学生を全力でサポート!

「私」の学生時代 国連難民高等弁務官事務所 駐日事務所 久保眞治副代表 ▶▶ p12

表紙の人: 文学の池の畔で寺西宏友副学長と北京語言大学デュアルディグリーコースの伊藤明日香さん(文学部4年、大手流通企業に内定)

創立者の行動に学ぶ 日中国交正常化40周年

過去から未来に受け継がれる日中友好の原点

Lessons from Our University Founder's Leadership
Legacy of China-Japan Friendship:
40Years After Restoration of Bilateral Ties

歴史的な日中国交正常化提言



日中国交正常化提言 (1968年9月8日)

日中国交正常化提言

1968年9月8日、創立者の池田大作先生は日大講堂で中国との国交回復のため、「日中国交正常化提言」を行いました。提言の中では、①中国政府の存在を正式に承認すること②中国の国連における正当な席を用意し、国際的な討議の場に登場してもらうこと③両国の広く経済的、文化的な交流を推進することを掲げました。1968年といえば、ベトナム戦争は継続中であり、この提言の前月にはチェコ動乱が勃発するなど、

まさに騒乱とした世界状況でした。そのような中での「日中国交正常化提言」は、内外に反響を呼び、当時の両国の外交政策とともに、日中国交正常化への流れに大きな影響を与えました。創立者には青春時代の体験から「絶対に戦争を起こしてはならない」との平和社会構築への強い思いがあります。その平和と友好へ続く、勇気ある真摯な対話と行動こそ、地道でありながら確かな一歩であることを私たちに教えてくれています。

本年9月6日から10日まで、渤海大学及び中国青年政治学院、中央财经大学との交流協定調印、中国人民大学訪問、北京語言大学創立50周年記念式典参加などのため、中国を訪問してきました。周恩来総理はかつて「信頼と尊敬こそ、外交の要」と語りました。両国間にはこれまでも、またこれから様々な困難があるかも

しませんが、創立者池田先生や多くの先人の方々が、努力に努力を重ねて築いた日中両国友好の光を絶やさぬことを、そして学生をはじめ若い世代の人たちに確かに引き継ぐことを、深く心に期しました。

創価大学学長 山本英夫

周恩来総理との会見

周総理との会見

「日中国交正常化提言」から4年後、1972年に日中の国交が正常化され、更に2年後の1974年12月に池田先生は周恩来総理と会見されました。その際、「アジアの平和が世界平和のカギである」「アジアの平和のためには日本と中国の友好が大切であり、世々代々にわたる青年交流を進めるべき」ということを周総理と確認し約束しました。



周恩来総理と会見 (1974年12月5日)



新中国からの初の国費留学生6名と懇談 (1975年5月5日)

新中国からの 初の留学生受入

池田先生は、会見の席上で周総理が日本での桜の思い出を語ったことに触れ、本学キャンパス内に日中友好の願いを込めて桜の植樹を提案し、その桜に「周桜」と命名しました。この時に植樹をした留学生の一人が現在の中国駐日大使である程永華氏です。創価大学は国交正常化後に初めて中国から派遣された国費留学生6名を受け入れ、現在中国の40をこえる大学と交流協定を結び、活発な交流が行われています。

現在に脈打つ日中友好の願い



本年4月8日、周秉徳女史（周総理の姪）ら親族一行が、創価大学の周桜観桜会にご出席されました。一行は、観桜会での学生主体の演目や運営に、大変喜ばれ、なかでも、日本人学生が中国語で、中国の留学生が日本語で話す様子に感心していました。周秉徳女史は、「本日、観桜会にお招き頂き、私たち兄弟は、周総理の果たせなかった夢を果たすことができました…（中略）皆様のご様子を見て、創立者池田先生のお心を知り、なぜ周総理を尊敬し、中日友好に尽くされるのか、よくわかりました」と

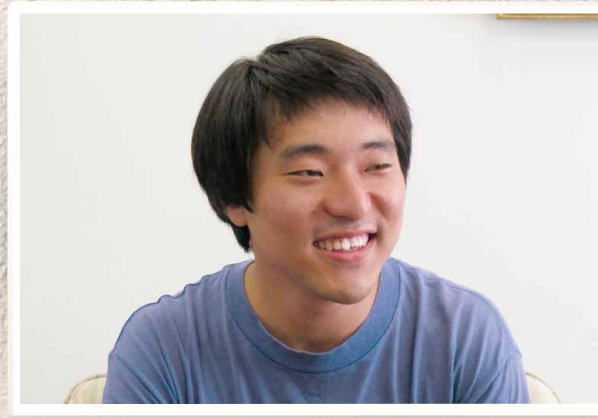
述べられました。また、周秉徳女史は、周総理と創立者池田先生の出会いの場面を振り返り、こう述べました。「会見した1974年当時、周総理は、すでに癌を患っており、大変な状況でした。その中で、若い池田先生と約30分にもわたって会談されました。それは、池田先生の中日友好の思いを知っていたと同時に、まだお若い池田先生に、これからの将来を託したいとの思いからでした。周総理は、池田先生のことを大変に思っておられました。その時の様子を知った私は、大変感動しました」



中国政府から本学図書館へ3,000冊の図書贈呈

日中国交正常化40周年を祝賀する交流イベント「感知中国」の一環として、中国の国务院新聞弁公室から本学に図書が贈呈され、中央図書館4階に「中国館」が開設されることとなりました。中国館の扁額の除幕式と図書贈呈式が7月3日、本部棟で行われ、同弁公室の王晨主任が講演をしました。「感知中国」では、各国の教育機関に図書贈呈を行っており、今回、日本の図書贈呈先に創価大学が選出され「中国通史」や「魯迅全集」をはじめ1,850冊が贈呈されました。今後、10年間にわたって最新の書籍が加えられ、合計3,000冊の図書が贈られる予定です。中国館の図書は現在整理中で、準備が整い次第、一般貸出を行います。

未来へと続く希望の懸け橋



交換留学生 劉弘毅さん

14年前、復旦大学に勤めていた私の父が、交換教員として創大に派遣されました。その時に私も一緒に1カ月ほど滞在して、キャンパスも美しく、人もすごく優しい大学だと感じました。私が復旦大学に在学している時、これまで交換教員を派遣してきた復旦大学は、今後は学生を派遣することになり、私は創大への初めての交換留学生として留学する機会を与えられました。創大に来てよかったとずっと思っています。その中でも、一番

思い出深いのは、友達と一緒に作った思い出です。創大祭では、記念フェスティバルや留学生喫茶で、世界各国から来た留学生や、創大生と友情をつなぎ、最高の思い出を作りました。また寮生活も素晴らしい経験でした。創価大学に来ている留学生とコミュニケーションすることにより、自分の考え方も変わっていくとともに、更に語学力も磨くことができました。創大に来ているんな人とコミュニケーションしたことで、そこに留学しに来た意味があったと心から実感しています。



中央民族大学の友人たちと。右端が北村さん

文学部人間学科 北村将治さん

文学部のデュアルディグリーコースで北京語言大学に2年間留学し、帰国してすぐ私費でアメリカへ1年間留学に行きました。この3年間の留学経験を活かし、中国語は新HSK（中国語検定試験）で最高位の6級を、英語はTOEIC300点からTOEIC880点へと大きく力を伸ばしました。そして、世界クラスのコンサルティング会社に内定を勝ち取ることができました。中国語を始めたのは大学からですが、難しいと嘆くよりも、学ぶ楽

しさに出会えた喜びでいっぱいでした。語学の挑戦と共に、臆せず外国人の中に入っていき、貴重な経験と友情を得ることができました。国と国、人と人之间には、絶えず難しい問題が生じますが、ピンチはチャンスのときでもあります。日本と中国の関係も、からんだ糸をほどこうに丁寧に忍耐強く交流していくとき、これまで以上の友好と友情を結べると確信します。

世界を見て、未来の自分を創ろう

Global Vistas Spurs Self-Development
Soka's International Exchange : Bridge to the World

学びの舞台は「世界」

海外留学経験者の声

日本 ▶ カナダ / トロントへ 私費

38期 教育学部教育学科 栗原 千香子さん
(写真センター)

滞在期間	2011年4月から12月(8カ月間)
学費	80万円
渡航費	20万円
宿舎費	月約9万円(食費込み)
保険	18万円

留学をしたきっかけ

「創価教育の正しさや素晴らしさを体験できる、実力ある中学校英語教員になりたい」という思いからでした。留学をして人間としての幅を広げ、実力をつけ、そして、英語の楽しさや素晴らしさを心から感じ、それを生徒に実感をもって伝えられる教員になりたいと強く思い、その思いが留学を決める理由となりました。

住居と食事について

私は、出会ったホストファミリーが大好きになり、予定していた期間を大幅に延長して、8カ月間ずっとホームステイをしました。ホストファミリーはフィリピン人で、ごはんも本当に美味しかったです。他にも、トロントは多国籍都市なので、日本食はもちろん、韓国・中国など世界中の美味しい食べ物が揃っています。

授業形態

英語総合クラス、TOEFLクラス、英語教授法クラスを受講。テスト対策のみならず、現地の大学に進学したときに使える様々なスキルを学ぶ。

留学で得たもの

トロントで生活していると、英語だけでなく様々な言語が耳に入り、肌の色も使う言葉も全く異なりますが、みんな何も変わらない同じ人間であるという、当たり前のようなことを実感できるようになりました。また、世界各国から留学に来た友人と出会えたことはかけがえのない財産になりました。

これから留学する方へのアドバイス

留学中は、二度とない最高の宝の日々です。そんな貴重な一日一日をどう過ごすかは、すべてあなた次第! 留学前に、目標や絶対にしたいこと、どんな自分になって帰ってきたいかを決め、それに向かって進んでいけば、必ず、あなたにしかできない最高の日々になることは間違いありません!

交換留学生の声

日本 ▶ 中国 / 北京大学へ 交換



38期 文学部人間学科 糸数 光司さん

滞在期間	2010年2月から2011年1月(約11カ月間)
奨学金	月々800元(約1万円相当)北京大学より支給※
学費	免除※
渡航費	往復7万円
食費	月約1万円
ビザ代	約7,000円
寮費	免除※

※交換留学制度によるもの。

留学をしたきっかけ

大学の入学式の折、創立者池田先生が周恩来総理の言葉を中国語で紹介され、日中友好の重要性について語ってくださり、それが留学を目指す大きな決意となったと思います。

住居と食事について

北京は大会なので、基本なんでも揃っていました。住居に関しては、比較的衛生環境の良い寮に住まわせて頂き、食事に関しては中華料理以外も町に出ればたくさんあるので困ることはなかったです。

授業形態

平日毎日実施。午前中に必修科目、午後は選択科目を履修。プレゼン大会や、弁論大会など、勉強の成果を発表する場にも多数参加。

留学で得たもの

一生の友人。
どこでも寝れる図太さ。

一番心に残った出来事

帰国前の約2週間、中国の最貧困地域と言われている寧夏回族自治区に行きました。そこで知り合った全ての人たちが、遠くから来た「日本人」に対して本当に優しく接してくれました。それは、中国の人が一人を大切にする心を持っている証拠だと実感しました。国と国を超えて友好を築けるのは、やはり一人と一人が築くのだと感動したのを覚えています。

これから留学する方へのアドバイス

留学は、「時間」と「お金」さえあれば誰でも出来ます。しかし、その留学という人生において大きな賭けを、自分にしかできない留学にするか、それとも人と比べてばかりの留学にするかは自分次第です。誰もが大きな可能性を秘めています。その自己の可能性を信じて、誰にも真似できない最高の留学して下さい!

46カ国・地域
140大学と交流

ヨーロッパ 18校

アジア 83校

中近東・アフリカ 9校

北米 14校

中南米 12校

オセアニア 4校

教師になるなら創価大学！

子どもの幸福に尽くす
教育者をめざす、

創価大学の教職サポート

TEACHER EDUCATION
SUPPORT

文部科学省の中央教育審議会「教員の資質能力向上特別部会」は、先に発表した「教職生活の全体を通じた教員の資質能力の総合的な向上方策について」(答申)において、これからの教員には、「社会から尊敬・信頼を受ける教員、思考力・判断力・表現力等を育成する実践的指導力を有する教員、困難な課題に同僚と協働し、地域と連携して対応する教員が必要である。また、教職生活全体を通じて、実践的指導力等を高めるとともに、社会の急速な発展の中で、知識・技能の絶えざる刷新が必要であることから、教員が探究力を持ち、学び続ける存在であることが不可欠である。」と指摘しています。

創価大学では、教職科目での学びに加え、教職を目指す学生のために「教職キャリアセンター」を開設し、“子どもの幸福を第一に目指す真の教育者”育成のサポートをおこなっています。

また、高度の専門性と実践的能力を備えた教員の養成を目標に「教職大学院」を開設。

- 一、子どもの幸福を目指す 慈愛の教育者たれ！
- 一、生命の尊厳を護り抜く 正義の教育者たれ！
- 一、平和の世界を創造しゆく 英知の教育者たれ！

との創立者が示された“三指針”を根本に、次の3点を掲げて、実践的能力と強靱な意欲をもつ教員養成に取り組んでいます。

1 確かな指導理論と実践力・応用力を備えたスクールリーダー

2 すべての人をかけがえない尊い価値を有する存在と見る人間観に立ち、互いの相違点に学び深める人間性豊かな教員

3 地球的視野に立ち、世界市民の育成に努める教員

これまでに学部、通信教育部、大学院卒業生で約6,100名が教員採用試験に合格。教育現場で子どもの幸福のために奮闘しています。

“教育の深さこそが社会の未来を決定づける”、創価大学は、学部・大学院と一貫した教員養成で、高度な専門性と豊かな人間性・社会性を備えた実践力ある教員を輩出し、平和な社会の建設に貢献していきます。

教職キャリアセンター



教職キャリアセンターでは、相談室を開設し、教員経験豊富な公立学校校長歴任者が担当し、相談会を開催しています。進路相談・教員採用試験対策・論作文添削・教育実習のアドバイスなどの相談に対応しています。

教員採用試験対策

本センターでは、教職を目指す学生を対象に教員採用試験対策講座を開催しています。最新の採用試験の実施問題を徹底分析し、以下の概要で実施しています。

1次試験対策講座(時事通信社講座)

1次試験の合格を目指し、筆記試験対策の学内講座を開講しています。これは、教員採用試験対策で実績のある学外講師を迎え、1次試験の出題領域である教職教養・一般教養・専門教養のそれぞれの講座を、最新の試験の動向を徹底分析した内容で開講しています。本年度は300名以上の学部生・通教生・卒業生が受講しております。受講生は実践的な指導を、格安料金で受講することができます(テキスト代金のみ)。

論作文・面接対策講座、2次試験対策講座

採用試験の選考において、「人物重視」の傾向が強くなってきている近年、筆記試験の結果だけでは合格を勝ち取ることはできません。本学では、筆記試験の対策とともに、自力では対策が難しい論作文や面接、模擬授業等の対策講座を開催しています。講師は、公立学校の校長を歴任した本学教職キャリアセンター指導講師が担当し、各自治体に合わせた対策を行っています。

教職大学院



本学教職大学院では、「人間教育の最高学府たれ」「新しき大文化建設の揺籃たれ」「人類の平和を守るフォートレス(要塞)たれ」との建学理念に基づき、学校現場のニーズを活かした授業を展開しています。研究者教員と実務家教員による多様な教育方法・学習方法を取り入れた授業展開で、実際の教育現場で真の“人間教育”を行うことができる教員を育みます。

教職大学院の特色

- ① 研究者教員と実務家教員による学校現場のニーズを活かした授業を展開
 - ・研究者教員と現場での経験豊かな実務家教員がチーム・ティーチングで指導にあたります。
 - ・「人間教育総合研究」では、具体的な実践的事例を取り上げ、分析的な研究を行い、「人間教育」を教育実践として展開します。
- ② 国内・国外の先進校での実地研究
 - ・先進校への実地研究を実施し、現代的教育課題の探究や、学校教育と教員の諸課題を国際的な視点から研究します。
 - ・訪問先では現代的教育課題や学校教育の特徴を研究します。
- ③ 多様な教育方法・学習方法を取り入れた授業を展開
 - ・ロールプレイング、フィールドワーク等の多様な学習方法を取り入れ、学生の主体的な学習と課題解決能力を育みます。
 - ・全ての授業をビデオに記録し、分析し、省察します。
- ④ 学生第一の学習環境
 - ・自習室、ラウンジ、PCルーム、教材開発室を備えた教職大学院棟を建設。学生第一の学習環境が整っています。
 - ・単身用学生寮が整備され、給付奨学金制度も充実しています。

在校生



子どもたちに 希望と安心を 送る教員に

教職研究科 人間教育実践リーダーコース

まどころ かよ

眞所 佳代さん

1999年 創価大学 教育学部教育学科卒業

2000年 北海道の公立中学校社会科教員として採用。

10年以上の実務経験を積む。

2012年 創価大学教職大学院入学

Q1 教員を目指したきっかけは？

中学3年生の時、創立者に似顔絵をプレゼントしたところ、すぐにお返事とご著作をいただきました。世界で活躍されているとても忙しい方なのに、中学生の自分にも丁寧に接して下さることに感動。すべての人の可能性を信じ、全力で励ましを送り続ける創立者のような教育者になりたいと思いました。

Q2 教職大学院を目指したきっかけは？

現在、中学校の教員をしていますが、学校経営の中で中堅であることを自覚し始め、授業や生徒指導だけではなく、後輩教員の育成や学校全体の運営について課題意識を持つようになったからです。同時に今自分が所属している学校だけではなく、日本全体の未来を考え、もっと広い視野で物事を見ることができるようになりたいと思ったからです。

Q3 教職大学院で学んでみていかがですか？

授業はもちろん、学会・研究会の参加、学外の様々な機関の方との学びなど、本物の中で予想以上の挑戦をさせていただいています。教育関係だけではなく、国際政治、経済等、様々な分野の方々と関わることで、学校現場の中だけでは分からないことにも大きく目を開かせていただきました。目先のスキルだけではなく、「何のための教育か」「教育とは何か」などの教育哲学を深められることや、研究のための研究ではなく、子ど

もの幸福のために学ぶことができるのは、創価大学だからだと思います。また、将来の教育界を担う使命を共にする最高の仲間が多数できたことが財産になりました。

Q4 目指す教員像は？

学校が、生徒にとって充実する場になり、地域にとっても喜んでいただける存在になり、将来の希望となり、働く教職員にとっても誇りと魅力のある職場になるようにしていきたいです。そのために、常に向上心を忘れず、仲間を大切にしていける教員でありたいと思っています。

Q5 教職を目指す方にメッセージをお願いします

教育現場が厳しい状況にさらされている昨今。このような中で、子どもの幸福を最優先にという心で教職を志す方が増えていったら嬉しく思います。教員になるまでの道程も簡単ではありませんが、教員になってからは、自分の力の無さに落ち込んだり、子どもの成長が見えなくて焦ったりします。でもそれは誰も通る道。悩んだ時は、励まし合える仲間がいると心強いですね。子どもの成長は時間がかかるので、関わった子どもと卒業後に成長した姿で会えた時は、教員になって本当に良かったと思いました。皆さんも是非、教育の素晴らしさを体験してください。応援しています。

女性が輝く世紀へ

SOKA WOMEN'S COLLEGE

創価女子短期大学

更なる女性教育の充実を

創価女子短期大学 石川 恵子 学長

本年2月、創価女子短期大学学長に就任しました石川恵子です。本学は創立以来、多様な社会の中で、人々のために積極的に行動し、尽くしていく、強い意志と意欲ある女性の育成に力を注いできました。

女性教育といってもその根本は創価の人間教育にほかなりません。創価女子短期大学が掲げた「知性と福德ゆたかな女性」「自己の信条をもち人間共和をめざす女性」「社会性と国際性に富む女性」との「建学の指針」は、本学の教育が目指す女性の資質であり、短大生、卒業生が誇りをもって今日まで、そして、未来へと受け継いでいく短大の魂であり、時代を変えゆく女性教育の今後を示す指針でもあります。

短大の「文学の庭」に立つキュリー夫人の像はまさにその象徴と言えるでしょう。創立者は、2008年に特別文化講座としてキュリー夫人の生涯を通して、「正しき人生」「幸福の人生」「勝利の人生」とは何かについて、余すところなく語ってくださいました。悲哀に負けない強さと勇気、使命を自覚し真摯に生涯学び続けること、試練に耐え、理想に向かって毅然と立ち上がり、自身の力を発揮し、笑顔を輝かせて生きること等々、これからの様々なライフステージでの、人として、女性としてのありようを教えてくださいました。

短大生にとってこの「建学の指針」のもとで学ぶ2年間は、豊かな感性をはぐみつつ、洗練された教養を身につけ、英知を磨き、人々に社会に貢献できる力を培っていく絶好の機会になると思います。教職員も一人ひとりを大切にしたいきめ細やかな指導と密度の高いコミュニケーションを通して、自ら学び、考える力を伸ばし、自信を持って未来に向けてその一步を踏み出していけるよう全力で支援しています。

「青春 二歳 誉れあり」と、短大生の学びに学び、鍛えに鍛える日々こそ、これからの世界を担い平和を創出する女性の教育の姿があると思います。

これからの創価女子短期大学の取り組みにどうぞご期待ください。



「私」の学生時代

MY MEMORY



世界各地の難民の保護と
支援を行なう国連機関である
UNHCR (国連難民高等弁務官事務所
United Nations High Commissioner for Refugees)。
その駐日事務所副代表として活動进行ける
創価大学卒業生の久保眞治さんに、
学生時代の思い出や、
今後の展望などを語っていただきました。

国際連合難民高等弁務官事務所 駐日事務所

くぼ しんじ
久保 眞治 副代表

1984年創価大学法学部卒。日系企業のニューヨーク駐在の後、1993年に外務省よりUNHCRに派遣。国連職員として主に中東・アジア地域の難民保護活動に従事。インドネシア地域主席法務官を経て2009年より現職。家族は妻と一男二女。

Interview

— 学生時代の思い出を教えてください

学生時代を振り返ると特に印象深い思い出が3つあります。

1つ目は寮生活。宮城県石巻市より上京し、右も左もわからないままいきなり10人部屋の滝山南寮9号室に入りました。ここでの1年間の生活は、本当に鍛えられました。みんな志が高く、創大の素晴らしい環境のなかでよく語り合いました。嬉しい時に一緒に笑い、苦しい時に励まし合った友とは、30年以上経った今でも連絡を取り合っています。人生の宝ですね。

2つ目が部活動です。1年生の時、実は軽い気持ちで、日本伝統文化研究会茶道部に入ったんです。最初の頃はいい加減な新入部員だったので女子の先輩にはよく叱られたものです(笑)。そうして徐々に真剣に取り組み始め、今は無き「古典の家」で活動する中、創立者・池田大作先生から折に触れ何度も励ましをいただいたんです。「何のため」を自身に問う原点になりました。部活動は、大学3年の創大祭まで続けましたが、学生時代を彩る大切な金の思い出です。そして3つ目が国家試験研究室です。小学校6年生の時に、たまたま知り合った四国出身の同学年の少年が真剣に「外交官になりたい」と決意しているのを知り、その時以来、私の将来の夢も外交官となりました。それで、入学式後さっそく国研に入って、とにかく必死に勉強しました。実は、外交官試験の実績も多く歴史のある他大学にも合格していて、入学前は少し迷ったんです。そんな時に、高校時代からよく家に来てくれていた石巻出身の創大の先輩が話を聞いてくれて、「安心して創価大学に來い」と激励してくれたんです。その後もずっと応援してくれ、そんな先輩の期待にも応えたいと頑張って挑戦を続けました。実は、尊敬するその先輩は、教員として今でも創大にいます。

— 難民支援をしようと思ったきっかけは何ですか？

創価大学大学院に在学中、タイのチュラロンコン大学に留学しまし

た。当時のタイはカンボジア難民の最大の受け入れ国。その時の調査活動を通して、国連職員として難民保護にかけたいとの思いが固まりました。「何のために学んでいるのか」と自身の使命について考えられたことが大きかったと思います。創立者が示してくださった「一番苦しんだ人が一番幸福になる権利がある」との言葉が浮かび、以来ぶれることのない自身の人生の座標軸が定まり、新たな挑戦を始めました。

— 現在の仕事について、また今後の展望をお聞かせください。

紆余曲折ありましたが、32歳でUNHCRに入り、約20年間でアフガニスタン、イラン、スリランカ、マレーシア、カンボジア、インドネシアの6カ国に勤務。3年前に東京駐在になりました。1950年の設立以来、ノーベル平和賞を2度受賞し、60年以上も国際社会の難民保護をリードし続けているUNHCRの活動に誇りを持っています。私もまだ10年は現役を続けられます。励まし支えてくれた大勢の人に恩返しをしていきたいです。学生時代と全く変わらぬ使命感で、今後も、世界中の難民保護の最前線にはせ参じたいと思っています。

— 現役創大生や創大を目指す受験生に一言エールをお願いします。

長い海外生活を経験し、ほとんどの現場で日本人は自分ひとり、また紛争地域への単身赴任も重なりましたが、だからこそ原点のある人は強いと思いました。どんなに厳しい局面でも、原点に立ち返り最後は乗り越えることができる。私は人生の座標軸、その原点を創価大学で築くことができました。どこにも負けない最高の建学の理念がある創価大学で、自身の将来をしっかりとイメージしながら、誇り高き学生生活を送ってほしいと思います。頑張ってください！

大変にありがとうございました。

3つの新棟 建設状況！

新総合教育棟



2013年夏完成予定

完成予想イメージ



現在の状況



創価大学の新しいシンボルとして、希望の槌音が鳴り響く「新総合教育棟」。建物の骨組みは、隣接する文系A棟の高さを超えるまでになりました。自主学習のための共同学習支援スペースや、約1,000人収容の大ホールを完備しています。

看護学部棟



2013年春完成予定

完成予想イメージ



現在の状況



時代が求めるヒューマンケアのプロを目指して、「豊かな教養」と「確かな看護実践力」を養成する看護学部。2013年完成予定のこの棟は、4階建てで、看護技術向上のためのスキルラボ、講義室、図書室などを完備しています。

新学生センター



2013年夏完成予定

完成予想イメージ



現在の状況



課外活動の充実を図る為、学生自治会棟、第1・第2クラブハウスにかわる施設として、第1グラウンド西側で建設が進んでいます（2013年完成予定）。地上5階建、建物中央のガラス張りが新しい時代を感じさせる外観となっています。

学生の活躍

STUDENT ACTIVITY
自分の可能性を信じて

経済学検定試験大学対抗戦10連覇！ 強豪校を圧倒し、連覇記録を更新！堂々の日本一に！



2012年7月1日(日)に行われた第17回経済学検定試験・大学対抗戦において、創価大学経済学理論同好会が、10期連続の優勝を達成しました。今回、京都大学・慶應義塾大学など12校22チーム156名が出場する中で、創価大学経済学理論同好会チームは、総合得点1750点を獲得しました。第2位に240点差をつけての優勝となりました。また、個人成績でも本学学生が1位、3位、5位、7位を獲得し、5人が個人賞を受賞しました。



フルコンタクト空手道部丈夫会が 団体準優勝！

第75回全日本学生キックボクシング選手大会で団体準優勝を飾りました。大会最優秀選手には、教育学部3年の降旗健嗣(ふりはた けんじ)君が選ばれました。

プリンス・マーシー・ジャズ・ オーケストラが全国大会に出場！



2012年8月19日(日)、第43回「山野楽器ビッグ・バンド・ジャズ・コンテスト」が大宮ソニックシティ・大ホールにて行われ、創価大学プリンス・マーシー・ジャズ・オーケストラが出場しました。

ヴォーカルグループが ディズニー公演



2012年8月15日(水)、東京ディズニーランドで行われたミュージック・フェスティバル・プログラムに創価大学ヴォーカルグループが出演しました。

語学の祭典 スピーチコンテスト開催！

学術系各クラブが主催し、他大学からの出場者も参加して行われるスピーチコンテストの今年度の日程が決まりました。「語学の祭典 スピーチコンテスト」にぜひご注目ください。

2012年度 スピーチコンテスト開催スケジュール

言語	コンテスト	開催日	会場
英語	全日本学生英語弁論大会 第18回 池田杯	11月10日(土)	学生ホール3F (多目的ホール)
ドイツ語	第21回 創価大学創立者杯 ドイツ語弁論大会	11月11日(日)	
日本手話	第8回 創価大学創立者杯 日本手話スピーチコンテスト	11月17日(土)	
ハングル	第20回 創価大学創立者杯 ハングルスピーチコンテスト	11月18日(日)	
中国語	創価大学創立者杯 第39回 中国語弁論大会	11月25日(日)	
スワヒリ語	第22回 創価大学創立者杯 スワヒリ語スピーチコンテスト	12月 2日(日)	
スペイン語	第21回 創価大学創立者杯 スペイン語弁論大会	12月 8日(土)	
フランス語	第31回 創価大学創立者杯 フランス語弁論大会	12月 9日(日)	
ロシア語	第22回 創価大学創立者杯 ロシア語スピーチコンテスト	12月15日(土)	

※詳しい時間帯は学生会ホームページをご参照ください。

震災を乗り越え卒業の栄冠を！



宮城県石巻在住
教育学部児童教育学科卒業
大和田 淳子さん(平成23年卒業)

いつか必ず創価大学で学びたい。その願いが叶い、晴れて2010年4月に通信教育部教育学部に入學。家族に支えられ、保育士の仕事と子育てを両立し、慣れないレポートを深夜まで書き、スクーリングにも参加し、勉強できる喜びと感謝で真摯に取り組んでいました。

2011年3月11日、東日本大震災。私が住む石巻市は大きなサイレンと大津波警報が鳴り響き、私たち家族は近くのスーパーの屋上へ避難しました。一週間波が引かず、家も生活できる状況ではなく、車中と避難場所に別れて過ごしました。暗闇の恐怖、人の恐怖、余震の恐怖に脅え、いつでも逃げられるよう服と靴下は着たまの毎日。私は仕事を失い、娘は急に泣き叫び、動悸や腹痛を起こし、すべて無くなったショックで不安定になりましたが、一日も早く生活を取り戻そうと必死でした。レポートを書く筆は止まり、家族から離れたくないという不安と恐怖心から、スクーリングも諦めていました。そんな時、母が「こういう時だからこそ大学へ行って、頑張ってみなさい。創立者の元へ行きなさい」と。私は、いろんな思いを抱え必死に八王子へ向かいました。心配な娘は、毎日泣いて電話をしてくれました。私は涙を必死に堪え、切った後、寮の机で泣きました。しかし、娘を励ますうちに自身の心に勇気と希望が湧きあがり、その心が

通じたのか、娘は「私が泣くとお母さんに心配をかけるし、勉強できないね」と、励ましてくれるまでになっていきました。こんな状況で来て良かったのだろうかと不安のまま開講式に参加しましたが、創立者より頂いた「我が家と思って安心して…」とのメッセージに、今まで固く閉じていた心が温かい日差しで水が溶けていくように、涙が溢れ、創立者の大きな心に包まれていることに感動しました。また、地域の方や、共に学ぶ通教生からも、力強く温かいエールを送っていただき、自然と笑顔に戻り、立ち上がることができました。

「自らが、苦闘を経てこそ人を真に励ますことができる。労苦は、人間を磨き深める」「“負けるものか!”という一念が人間を鍛え、強くするのです」との創立者の言葉を抱きしめ、卒業目指し石巻で奮闘しました。今、冬は必ず春となることを実感しながら、感謝の心で大前進しています。卒業後、念願の幼稚園1種免許を取得することができました。創立者の元で勉学に励めたことを一生の宝物に、再び、子どもたちのために教育現場でお役に立っていきたいと思います。

Seminar on Higher Learning in the 21st Century

21世紀大学教育セミナー

飯舘村の菅野典雄村長が「『おカネの世界』から『いのちの世界』へ」とのテーマで講演。
本学学生、教育関係者、一般の方々、福島県や飯舘村などから、約500名の皆さんが参加。



7月27日(金)、飯舘村の菅野典雄村長を講師に、「21世紀大学教育セミナー」(創価大学・東京新聞共催)を開催しました。「私たちの村は、風のいたずらで全村避難となってしまいました」とし、今日本は第3の転換期にあると話を始めました。高い放射線量で全村避難となった飯舘村の現状と対応について、「自然災害はゼロからのスタートだが、放射能の被害はゼロへ向かっての戦いです。不安も生活苦もある。放射能は人の心を分断します。親子、夫婦でも考えが違います。補償問題もあります。心の分断との戦いです」と述べていました。「次世代に迷惑をかけない社会、住みやすく美しい社会を作っていかなければならない。これが第3の転換期だと思います」と講演を締めくくりました。

山本英夫学長は、宮城県女川町で復興に携わる卒業生・神山梓さんの活躍、留学生会主催のチャリティーイベント、創大ボランティアの活動を通して、「人間への挑戦」「世界への挑戦」「未来への挑戦」について話をしました。

Summer School for Correspondence Education Division

通信教育部、伝統の夏期スクーリングを開講



通信教育部の夏期スクーリングが8月5日(日)から19日(日)まで開講されました。アメリカ、フランス、中国など海外17カ国・地域からの参加者も含め、延べ約6,500名の受講生が参加されました。開講式には創立者から、「自分に打ち勝ち、立派に学び抜いておられる皆さん方に、私は『学の光』が輝きわたる金メダルをかけて讃え、労いたい思いでいっぱいであります。」と万感こもるメッセージが贈られました。また、14日(火)には「学光祭」が晴れやかに開催されました。

2012 Summer Course Program

夏季大学講座



8月24日(金)から26日(日)の3日間、第39回夏季大学講座を本学キャンパスにて行いました。教育、文学、歴史、音楽など多彩な53講座を開講し、3日間で9,000名を超える方々が「1日創大生」として研鑽に汗を流しました。

受講された方の声

講座番号30番「健康のための食事・運動・睡眠について」 学士課程教育機構／五味 千帆 准教授

「こんなに素晴らしいキャンパス、そして教室だとは知りませんでした。講義の内容もさることながら、教育環境に驚きました。創大の学生さんは、本当に幸せだと思いました。」…………… 70代 女性

講座番号39番「親子で学ぶ一日絵画教室」 教育学部／清水 由朗 教授

「最初は難しいかと思いましたが、実際に体験してみて、子供でも簡単にでき、とてもよかったです。親子で1つのものを作ることができ、よい経験ができました。」…………… 40代 女性

2012 Commencement Ceremony

前期卒業式

大学院・法科大学院・大学・短大の
82名に学位記授与



創価大学・創価女子短期大学の2012年度前期卒業式が、9月15日(土)に行われ、大学院・法科大学院・大学・短大の82名が新たな門出を飾りました。創立者は「使命の人生を、賢者として喜び勇んで勝ち進め!」と呼び掛け、逆境に直面した時に、退くことなく、喜び勇んで立ち向かっていく「賢者の中の大賢者」であれと慶祝のメッセージを寄せました。出席者全員、新たな出発を誓い合いました。

Shuttle Bus Launched

シャトルバス

本年10月から「新宿駅一創大 シャトルバス」
の試験運行が始まります!

学生の利便性向上のため、明年2013年4月より、新宿駅西口と本学を結ぶシャトルバスを運行します。これにより、新宿一本学間を最短40分で結ぶことになります。シャトルバスの運行は、月曜日から金曜日の授業実施日を予定しています。明年の本稼働に向け、下記のとおり今秋より試験運行を開始します。

試験運行期間	2012年10月15日(月)～2013年1月25日(金)
運行ダイヤについて	新宿発→創価大学着 月曜日～金曜日 運行 7:30発 / 9:40発 創価大学発→新宿着 月・火・木曜日 運行 15:00発 / 16:45発 / 18:30発 / 20:30発 水・金曜日 運行 15:00発 / 16:45発 / 20:30発
シャトルバス利用者	創価大学・創価女子短期大学に所属する学生(通教生は除く)、大学院生、教職員
利用方法	【1】ポータルサイト上で事前予約 【2】シャトルバス乗車時に学生証・教職員証を提示 【3】Suica(スイカ)、またはPASMO(パスモ)で支払い。(400円を予定。現金は不可。) ※1月の定期試験期間中の運行については、一部ダイヤが変更になる場合があります。 ※シャトルバスに関する詳しい情報は創大HPまで

Seminar on Teachers Education Graduate Program

教職大学院シンポジウム 「教員の資質能力向上と教職大学院の在り方」をテーマに。



創価大学教育学部・教職大学院主催のシンポジウム(後援＝文部科学省、日本教職大学院協会)が9月8日(土)、本部棟にて開催されました。第一部では文部科学省初等中等教育局教職員課長の藤原章夫氏が登壇。学校教育に関する諸課題への対応のため、より専門的な教師像が求められていると述べられました。第二部では、兵庫教育大学教職大学院教育実践高度化専攻長の米田豊氏、東京都教職員研修センター主任指導主事の荒川元邦氏らを交え、教員養成の在り方などを語り合う、活発な討論が行われました。

An Evening of Fireflies

ホタルのタベ



6月30日(土)、7月1日(日)に、蛍桜保存会の主催の「ホタルのタベ」が開催されました。近隣の方もたくさんご来場いただき、2日間あわせて160名の方にご参加いただくことができました。暗闇の中で、蛍が光る姿を見せるたびに歓声が上がり、その不思議な光の世界に引き込まれていました。

Video Screening of Soka Founder Address

創立者スピーチ上映会

7月13日(金)、全学生・教職員を対象に、「第1回特別文化講座 人間ゲートを語る」の上映会を池田記念講堂で行いました。これまでの創立者のスピーチ映像を上映し、そこから創立者の建学の精神を学ぶことを目的としています。学生自治会を中心に今年度から開始し、年6回の開催を予定しています。

Completion Ceremony Held for Exchange Students

交換留学生修了式 海外40大学からの交換留学生等の修了式を開催!



7月30日(月)、デ・ラ・サール大学やガーナ大学、モントリオール大学など海外40大学から本学で学んでいた交換留学生やアメリカ創価大学研修生、特別履修生61名の修了式が本部棟の国際会議場で行われました。創立者からのメッセージが紹介され、「皆さん方は、全員が祖国を担い立ち、人類の未来を開きゆく『宝の中の宝』の大人材」と、留学生の未来に大きな期待を寄せました。現在、本学は46カ国・地域140大学と交流を結び、毎年約350名の留学生がキャンパスで学んでいます。

Soka University Fire Brigade

自衛消防隊 第45回自衛消防訓練審査会にて、本学女子隊が優勝!



7月18日(水)、創価大学第一グラウンドで、八王子消防署・八王子防火管理研究会共催の自衛消防訓練審査会が行われ、八王子市内の事業所から男女55チームが参加。女子隊部門で創価大学女子自衛消防隊が優勝を飾りました。この審査会は、チームごとに屋内消火栓の基本的な取扱いや各種操作技術の習熟状況を確認し、併せて技術の向上と志気の高揚を図ることを目的として実施するものです。本学では、審査会場を提供するとともに、男女職員の代表3名ずつで2チームを組み、この審査会に参加しています。

Select List of Visiting Dignitaries

主な来学者 世界中の政府・学術機関の代表者が本学にご来学されました。

6月21日(木) メキシコ合衆国

駐日メキシコ大使館 クロード・ヘル・ルーアサン特命全権大使一行が来学。「国際社会の安全保障と平和に対するメキシコの貢献」のテーマで本学学生に向け、講演を行いました。

6月27日(水) インドネシア

シンタ・ヌリヤ女史(ワヒド元大統領夫人)一行が来学。本学から創大教育文化賞を授与の後、本部棟にて記念講演会を行いました。

6月29日(金) 中国/大連工業大学

鄭積岩学長一行が来学。創大最高栄誉賞を授与の後、交流協定調印式を行いました。

7月3日(火) 中国/國務院新聞弁公室

王晨國務院新聞弁公室主任一行が来学。中国政府から本学図書館へ3,000冊の図書が贈呈されました。

7月11日(水) 中国/中央電視台

高峰副台長一行が来学。

8月23日(木) 韓国/昌原大学

李 贊揆総長一行が来学。交流協定調印式を行いました。

8月23日(木) 台湾/到理技術学院

尚世昌学長夫妻が来学。

8月25日(土) 中国/敦煌研究院

樊錦詩院長一行が来学。

Open Campus in July and August 2012

7月・8月オープンキャンパスを開催



7月29日(日)、8月19日(日)、創大・短大でオープンキャンパスが開催され、2日間で延べ約8,500人が参加されました。明年2013年開設の看護学部の説明会や、文系A棟・C棟・工学部棟の「学部企画」、留学、奨学金などの「相談コーナー」、女子専用の「フラワーカフェ」が設けられ、参加者は教授陣や学生の皆さんに熱心に相談をされていました。池田記念講堂では、山本学長の挨拶、クラブ団体のアトラクション、現役生の合格体験など「歓迎フェスティバル」が盛大に開催されました。

New Lineup of Sogaku Service Goods

新商品 創大グッズ 贈り物にも、日常生活でも使える便利なグッズ新発売!!



1,000円(税込)

創大チーズタルトケーキ

クリーミーで柔らかい口当たりのチーズタルトケーキ。本の形をした外装箱も大好評。14個入りで贈り物にも最適です。



各1,000円(税込)

創大タンブラー

花柄・本部棟・世界地図をモチーフとした3種類のデザインで新発売!フタがあるので、オフィスのデスクや勉強机に置いておけばらくて安心!お土産に喜ばれています!

ホームページからもご注文頂けます。

通信販売・商品に関するお問合せはこちら ▶ 創学サービス購買課 TEL:042-691-9391 HP:http://sogakuservice.co.jp

2012年度 創大進学フェア開催!

2012年度 保護者教育相談会開催日の
午前中、または午後の時間帯に
「創大進学フェア」を開催することになりました。

この「創大進学フェア」は創価大学及び創価女子短期大学のことを聞いてみたい中学生、高校生やその保護者の皆様を対象に行います。従いまして、現役生の保護者の皆様には、直接関係する内容ではございません。その上で、御息息あるいは関係者、また、これから創価大学及び創価女子短期大学を目指そうとしている方がいらっしゃいましたら、この「創大進学フェア」をご利用いただければ幸いです。どうぞ宜しくお願い致します。



進学フェア開催スケジュール

開催日	番号	場 所	開催時間
10月21日(日)	1	東京 (創価大学)	—
	2	千葉 (千葉市)	▲ (10:00~12:00)
	3	鳥取 (米子市)	▲ (10:00~12:00)
10月27日(土)	4	栃木 (宇都宮市)	▲ (15:00~17:00)
	5	岩手 (盛岡市)	▲ (15:00~17:00)
	6	福島 (郡山市)	▲ (15:00~17:00)
10月28日(日)	7	茨城 (水戸市)	▲ (10:00~12:00)
	8	宮城 (仙台市)	▲ (10:00~12:00)
	9	山形 (山形市)	▲ (10:00~12:00)
11月3日(祝・土)	10	奈良 (橿原市)	▲ (15:00~17:00)
	11	熊本 (熊本市)	▲ (15:00~17:00)
	12	三重 (津市)	▲ (15:00~17:00)
11月4日(日)	13	和歌山 (和歌山市)	▲ (10:00~12:00)
	14	鹿児島 (鹿児島市)	▲ (10:00~12:00)
	15	愛知 (名古屋市)	▲ (10:00~12:00)
11月10日(土)	16	東京 (港区)	▲ (15:00~17:00)
	17	埼玉 (さいたま市)	▲ (15:00~17:00)

開催日	番号	場 所	開催時間
11月11日(日)	18	神奈川 (横浜市)	▲ (10:00~12:00)
	19	山梨 (甲府市)	▲ (10:00~12:00)
	20	滋賀 (大津市)	▲ (10:00~12:00)
11月17日(土)	21	大阪 (大阪市)	—
	22	北海道 (旭川市)	▲ (15:00~17:00)
	23	長野 (長野市)	▲ (15:00~17:00)
11月18日(日)	24	大阪 (大阪市)	▲ (10:00~12:00)
	25	北海道 (札幌市)	▲ (10:00~12:00)
	26	群馬 (高崎市)	▲ (10:00~12:00)
11月25日(日)	27	愛媛 (松山市)	▲ (10:00~12:00)
	28	富山 (富山市)	▲ (10:00~12:00)
	29	沖縄 (那覇市)	▲ (10:00~12:00)
12月1日(土)	30	佐賀 (佐賀市)	▲ (15:00~17:00)
	31	山口 (山口市)	▲ (15:00~17:00)
	32	香川 (高松市)	▲ (15:00~17:00)
12月2日(日)	33	福岡 (福岡市)	▲ (10:00~12:00)
	34	広島 (広島市)	▲ (10:00~12:00)
	35	徳島 (徳島市)	▲ (10:00~12:00)

※詳細は、ホームページをご覧ください。

2012年度 保護者教育相談会開催！



創価大学・短大では、この秋、2012年度の
保護者教育相談会を全国各地で開催いたします。

この相談会は2003年度から毎年行っているもので、今年度は全国35会場（35回）に本学教職員が伺います。昨年度は836名の方が参加され、各地で在籍中の学生の保護者の皆様とのコミュニケーションの場として、「就職・進路」「学生生活」「授業の履修・成績」等について、質問や相談を受け、各地での開催に好評が寄せられました。創価大学・短大はこれからも魅力ある大学を目指して、保護者の皆様のご期待に沿うように、学生の勉学や生活の支援に全力で取り組んでまいります。

※東京、愛知、大阪、広島、福岡の会場では、創価女子短期大学の相談会も行います。

相談会開催スケジュール

会場・時間につきましては、保護者の方へ別途通知をお届けいたします。

開催日	番号	場 所	対 象	
			創価大学	創価女子短大
10月21日（日）	1	東京（創価大学）	●	★
	2	千葉（千葉市）	●	—
	3	鳥取（米子市）	●	—
10月27日（土）	4	栃木（宇都宮市）	●	—
	5	岩手（盛岡市）	●	—
	6	福島（郡山市）	●	—
10月28日（日）	7	茨城（水戸市）	●	—
	8	宮城（仙台市）	●	—
	9	山形（山形市）	●	—
11月3日（祝・土）	10	奈良（橿原市）	●	—
	11	熊本（熊本市）	●	—
	12	三重（津市）	●	—
11月4日（日）	13	和歌山（和歌山市）	●	—
	14	鹿児島（鹿児島市）	●	—
	15	愛知（名古屋市）	●	★
11月10日（土）	16	東京（港区）	●	★
	17	埼玉（さいたま市）	●	—

開催日	番号	場 所	対 象	
			創価大学	創価女子短大
11月11日（日）	18	神奈川（横浜市）	●	—
	19	山梨（甲府市）	●	—
	20	滋賀（大津市）	●	—
11月17日（土）	21	大阪（大阪市）	●	—
	22	北海道（旭川市）	●	—
	23	長野（長野市）	●	—
11月18日（日）	24	大阪（大阪市）	●	★
	25	北海道（札幌市）	●	—
	26	群馬（高崎市）	●	—
11月25日（日）	27	愛媛（松山市）	●	—
	28	富山（富山市）	●	—
	29	沖縄（那覇市）	●	—
12月1日（土）	30	佐賀（佐賀市）	●	—
	31	山口（山口市）	●	—
	32	香川（高松市）	●	—
12月2日（日）	33	福岡（福岡市）	●	★
	34	広島（広島市）	●	★
	35	徳島（徳島市）	●	—

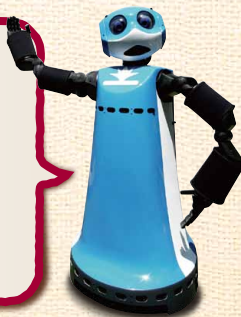
第42回

創大祭 &

第28回

白鳥祭

10/7日・8日 祝月
開催!!



創大祭・白鳥祭では、クラブやゼミの学生が、日頃の研究や活動を発表する場として、独自の展示や演奏会などを企画し開催します! オープニングパレードから始まり、文化交流フェスティバル、また最終日には後夜祭なども企画しております。多種多様な模擬店も立ち並び、多くの参加者が全国各地から来られます。とてもにぎやかな学内最大の祭典です。予約等は不要です。ぜひお越しください。

PROGRAM プログラム

オープニングパレード



文化交流フェスティバル



各団体展示



創価芸術展



模擬店



後夜祭



2013年4月

創価大学キャンパス全面禁煙化まであと

179日

※2012年10月4日 現在

2013年度入学試験日程決まる!

創価大学

	出願期間	試験日	合格発表
公募推薦入試	2012/11/1(木)~9(金)	2012/11/24(土)	2012/12/5(水)
大学入試センター試験利用入試(前期)	2013/1/4(金)~18(金)	2013/1/19(土)・20(日)に実施される大学入試センター試験を受験すること	2013/2/10(日)
一般入試	2013/1/4(金)~29(火)	経済・法・教育学部 2013/2/13(水) 経営・文学部 2013/2/14(木) 工学部 2013/2/15(金)	2013/2/22(金)
大学入試センター試験利用入試(後期)	2013/3/1(金)~7(木)	2013/1/19(土)・20(日)に実施される大学入試センター試験を受験すること	2013/3/18(月)

創価女子短期大学

	出願期間	試験日	合格発表
公募推薦入試	2012/10/31(水)~11/9(金)	2012/11/17(土)	2012/11/23(金)
一般入試	2013/1/4(金)~23(水)	2013/2/5(火)	2013/2/12(火)

完成

創大キャンパスガイド2013 短大キャンパスガイド2013

創価大学、創価女子短期大学の入試要項(願書)や、キャンパスガイド2013がご請求いただけます。請求方法は以下の通りです。ご希望の方はぜひご利用ください。

☎ テレメール 以下に電話し、資料番号を登録して下さい。

IP電話番号

050-8601-0101

※お問い合わせは
050-8601-0102へおかけください。

資料番号

入試要項(願書)..... 160189(短大:174150)
過去の入試問題集(1年分)..... 157070(短大含む)
創大キャンパスガイド2013..... 151891(短大:154151)

●インターネット(PC・携帯電話 <http://telemail.jp>)からも請求できます。



資料請求用
QRコード

読者の声

創価大学を卒業し、福岡で暮らしているため、SUNで新しく知る情報がたくさんあり、いつもとても楽しみにしております。母校の発展を感じることができ、とても嬉しいです。SUNを通して、娘にも創価大学のことを語っています。

福岡 卒業生

学生時代、SUNに掲載して頂いたことがあります。その時以上に学生の就職やクラブなどの活躍が目覚ましく、誇らしく思います。創価大学で学んだ原点を忘れずに、社会で全力で頑張ろう!といつも励まされています。ありがとうございます。

東京 卒業生

編集部からのお知らせ

編集部では読者の皆さまの声を募集しています。感想などがありましたら、下記までお寄せください。これからも充実した誌面づくりに努めてまいりますので、何卒よろしく願いいたします。

※皆さまからいただきました感想などは「読者の声」の欄で紹介させていただく場合があります。

FAX:042-691-9300

E-mail:sun@soka.ac.jp

SUN
Soka University News

Soka University News 75号

●編集発行/Soka University News 編集委員会 ●発行責任者/田代 康則 ●編集長/斎藤 光子
〒192-8577 東京都八王子市丹木町1丁目236番地 Tel.042(691)2215 Fax.042(691)9300
ホームページ/<http://www.soka.ac.jp> 2012年10月発行



揮発性有機化合物を低減できる大豆インクを使用しています。